

平成30年度上半期の予算執行状況

企業会計

企業会計の予算執行状況

(単位：万円)

会計名	区分	収入			支出		
		予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率
水道事業	収益的	317,000	155,439	49.0%	297,910	128,407	43.1%
	資本的	131,195			266,102	76,146	28.6%
下水道事業	収益的	535,151	298,754	55.8%	467,217	212,110	45.4%
	資本的	289,368	22,467	7.8%	447,399	108,016	24.1%
市立病院事業	収益的	1,088,205	546,690	50.2%	1,099,978	500,499	45.5%
	資本的	88,020	2,206	2.5%	130,351	54,397	41.7%
公設地方卸売市場事業	収益的	15,455	6,721	43.5%	14,480	5,904	40.8%
	資本的	1,330			3,655	1,660	45.4%
合計	収益的	1,955,811	1,007,604	51.5%	1,879,585	846,920	45.1%
	資本的	509,913	24,673	4.8%	847,507	240,219	28.3%

■水道事業

配水管整備と老朽管の布設替工事、幌内ポンプ場動力計装設備更新工事など約80%を発注しました。

■下水道事業

雨汚水管整備と老朽管の布設替工事、沼ノ端中継ポンプ場築造工事など約79%を発注しました。

■市立病院事業

心拍数や呼吸数、体温などを一括管理する機器であるセントラルモニタをはじめ、医療機器の更新を行いました。

■公設地方卸売市場事業

水産棟衛生管理事業として、シートシャッター設置工事などを施工しました。

苫小牧市技能功労者表彰

工業・雇用振興課 電話(32)6436

平成30年度の技能功労者表彰式が、11月26日に行われました。市内で技能職に従事し、その技術が最高水準にあると認められた9人の方が表彰されました



さいとう じゅんいち

齋藤 純一 さん (有)国の光齋藤鉄工所

鉄工として、独自の工夫と改善を重ね、安全な作業に努めて質の高い製品を手掛けている。また、鉄工技能士会の役員を歴任し、後進の育成や指導に尽力しているほか、地域でのボランティア活動に積極的に参加している。



すずき のりあき

鈴木 則昭 さん 清水電設(株)

電気工事士として、電柱からの墜落防止に効果的な工法の整備などで業界の第一人者として指導的役割を担っている。また、電設工事における技術指針・安全対策を立案するほか、「街の電気安全ドクター」としても活動している。



なりかわ やすし

成川 泰 さん (有)成川板金工業所

板金工として、神社や仏閣、木造・鉄骨建築物などにおける一文字葺き材料をつなぐ工法を確立している。また、金属板工業協同組合および建築板金技能士会に長年所属し、若年技能者の育成に尽力している。



やまおか まさひこ

山岡 昌彦 さん ライフ工業(株)

鉄工として、鋼材加工による切断、ケガキ、仮組などは迅速で精度が高く、業界内からも評価されている。また、現在も新たな資格取得に意欲的に取り組み、その技術を伝承するために後進の育成に尽力している。



いずみやすひろ

泉 泰弘 さん (株)進興工業

配管工として、小口径から大口径の配水管工事についての技術の優等性は、業界第一人者として指導的役割を担っている。また、厚生労働省「ものづくりマイスター」として、技能の継承や後継者の育成に尽力している。



さく た あつひこ

作田 篤彦 さん (株)作田造園

造園師として、錦大沼公園樹木園のリニューアルなどで業界内から高い評価を得ている。さらに、後進の技術力向上に尽力するとともに、社会奉仕活動や安全教育に積極的に参加している。



たけだ こういち

武田 浩一 さん 川端重機(株)

自動車整備工として、大型重機車両や建設機械などの整備に優れた技能を有し、迅速かつ的確な状況判断と整備作業は、業界内からも高く評価されている。また、若手整備士のアドバイザー的存在としても活躍している。



まつばらゆたか

松原 豊 さん 楡建設(株)

配管工として、水道施設・空調衛生設備工事での知識と技能が高い評価を得ており、学校など公共施設の給排水設備の無償定期点検、修繕工事も行っている。さらに、実践的な知識を後進に指導し、優秀な技能者の育成に尽力している。



よこやま じゅんいち

横山 淳一 さん (株)キョウウ

建築塗装工として、プラストマシンの改良や塗装道具の加工改善など、低コスト・高品質の工事完了を心掛けている。また、技術の手順やコツを後進に伝え、状況に応じ自ら行動する技術者の育成に尽力している。